

第5章

WinInet APIを利用した
TCP/IPプログラム

ここでは、WinInet APIを利用したプログラミングについて解説します。

WinInet API (Win32 Internet 関数) は、Windows APIの一部で、その実体はダイナミックリンクライブラリ (DLL) です。VBAでAPIを利用することはあまり多くありませんが、少しの工夫でAPIの利用が可能になります。Inetコントロールのように特別なActiveXコントロールを必要としないというメリットもあります。

WinInet APIは、第3章のWinsock APIと同様に、C/C++によるWin32アプリケーションプログラミングの応用になっています。

5.1 WinInet APIの関数

WinInet APIには、Inetコントロールと同様な関数が用意されており、HTTP (HTTPSを含む)、FTPなどのクライアントプログラムを容易に作成する機能を提供しています。残念ながらメール関連の機能は提供されていません。WinInet API (Win32 Internet Extensions、その実体はwininet.dll) のおもな関数については、表5.1 (章末) を参照してください。

WinInet APIによるプログラムの構造は、第2章のWinsock APIを利用したプログラムと基本的

図5.1 WinInet APIによるプログラムの構成

